

桜の便りが近づいてきました。ご家族で、お友達とご近所・地域で花見をどこで、いつするかを楽しみながら計画を練っている時期だと思います。

たすけ合う  隅田 も芽が膨らみもう少しで開花をするところまで参りましたので、今までの取り組んできたことやこれから「何を」するのか、また皆さんに何を「助けて」いただきたいかをご報告させていただきます。

1. 「たすけ合う」って何？

平成27年に介護保険法が改正されました。目的は「社会参加の推進により、地域で最後まで暮らすための生活支援の整備」です。今までの行政等が補助や委託をして事業を行うものではなく、自分たちが考えたことに地域皆の力を集結し、住民を中心とした多様な主体で、やってみようという新しい取り組み（生活支援体制の整備）が **たすけ合う  隅田** です。

2. 勉強会の参加

メンバー全員が参加していませんが、以前から興味や介護にかかわっていた方々が参加しました。

- (1) 生活支援サービスの体制整備事業についての勉強会（H28. 1）
- (2) 高齢者が安心して暮らせる地域づくりに関する勉強会（H28. 3～5）
- (3) これからの地域づくりを考える勉強会（H29. 1）
- (4) みんなで創ろうたすけ愛はしもとフォーラム開催（H29. 7 講演 さわやか福祉財団 堀田力会長）

3. 隅田地区第2層協議体

たすけ合う  隅田 について

(1) 協議体設立までの経緯

A. 設置に向けた準備会

① 第1回準備会

平成29年8月25日（金）18:30～20:00

15名参加（民生委員1名、区長含む一般人12名、第1層委員2名）

○主な意見

- ・地区から誰も参加していないところがあるので、次回から区長に声がけして参加者（メンバー）を増やしたい。

② 第2回準備会

平成29年10月13日（金）19:00～20:30

25名参加（区長10名、老人クラブ2名、一般12名、第1層委員1名）

○主な意見（助け合い活動・協議体について）

- ・助けられる側が望んでいるのか。協議体を立ち上げてニーズがなければ必要ない。
- ・高齢者が何をしてほしいのか。本人が望んでいるものに協議体が対応。
- ・メンバーに民生委員が入ってほしい。

③ 第3回準備会

平成30年2月14日（水）19:00～20:40

21名参加（区長10名、老人クラブ3名、一般6名、第1層委員2名）

○第2層協議体として発足

- ・会の愛称を決めるため、次回までにFAX募集する。



4. たすけ合う 隅田 としての取り組み

(1) 隅田地区第2層協議体第1回会議

平成30年4月24日（水）19:00～20:30

○協議体の愛称を **たすけ合う  隅田** と決めました。

○生活支援コーディネーターについて

・市から水口郁敏（下兵庫区長）、村山泰子（中下民生委員）、大井健一郎（平野区老人クラブ）の3名が推薦され全体同意として決定しました。

(2) たすけ合う隅田第2回会議

平成30年5月22日（火）19:00～20:30

○たすけ合う隅田の運営について

・会議開催は原則として毎月1回（助け合いの出来ること探し決定時点まで）第4木曜日19時から1時間30分。場所は隅田地区公民館

(3) たすけ合う隅田第3回会議

平成30年7月5日（木）19:00～20:30

(4) たすけ合う隅田第4回会議

平成30年9月27日（木）19:00～20:30

(5) たすけ合う隅田第5回会議

平成30年10月25日（木）19:00～20:30

(6) たすけ合う隅田第6回会議

平成30年11月22日（木）19:00～20:30

○①見守り、②居場所・交流、③ちょっとした生活支援、④移動支援、⑤ほかについて、「高齢者の活動・特徴」と「たすけ合いがあれば安心できる事、私が・仲間ができる事」について3回にわたり討議。6グループ（下兵庫・下兵庫住宅、中島・垂井、真土・霜草、河瀬・上兵庫、中下・芋生、山内・平野）が発表しました。

(7) たすけ合う隅田第7回会議

平成30年12月18日（火）19:00～20:30

○同じグループで「たすけ合う隅田」として①全体でのこれからの活動（活動目標）について、②グループでのこれからの活動について、③各区・地域での活動「これから何をするか」を討議・発表しました。

(8) たすけ合う隅田第8回会議

平成31年1月24日（木）19:00～20:30

(9) たすけ合う隅田第9回会議

平成31年2月28日（木）19:00～20:30

○2回のグループ討議を終えて

・全体の発表を受けて、たすけ合う隅田としての取り組みは「買い物支援」と「通院支援」に要約できるが、全体での活動を決める前にもう一度各地区で、身近な活動にターゲットを置き、区での責任者のもと「助け合い」に取り組んでいくべきだとの結論となりました。

5. たすけ合う 隅田 としての今後の取り組み

○区長交代が多くある現状では、全体としての取り組みを決めるには時間がかかるので、まずは「自区」での取り組みを推進していきたいと思います。

そのために皆さんの「助ける力」をお借りし、皆で助け合う「人に優しい区」づくりを行っていきたくと思っています。

○今後も **たすけ合う  隅田** を続けてまいります。機会毎にこの「たより」を発行しますので、ご意見をお寄せください。



たすけ合う 隅田 だより 第 2 号

令和 3 年 2 月 発行

生活支援コーディネーター：：水口郁敏・村山泰子・有澤晃暁

中尾忠央・中家祥二・千本邦子

住み心地のよい地域を目指して

たすけ合う隅田とは？

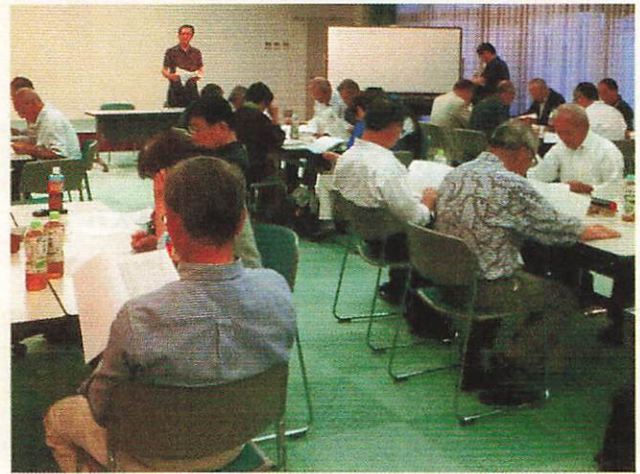
たすけ合う隅田だより第1号でご案内したように、平成30年2月に「たすけ合う隅田」（隅田地区第2層協議体）が発足し、住み心地のよい隅田地区を目指して、今何が必要か、あと5年後10年後を考えて今からできることを考えようと話し合いをしています。

協議体には、各地区の区長をはじめ、有志の方々が、2ヶ月に1回、隅田地区公民館に集まっています。

現在は新型コロナウイルス感染の拡大防止のため休止しています。

各地区の取り組みをご紹介します！

本号では、各地区の今後の取り組みを推進していただくため、各地域の活動状況についてリポートをまとめました。今回は4地区を掲載します。他の地区については、次号にて掲載する予定になっています。



令和元年5月31日全体会議の様子

各地域の活動状況

生活支援に向けた取り組みを 検討する委員会を設置

〓 河瀬地区 〓

河瀬区では高齢者等が安全で、安心して暮らせる地域、健康で楽しく暮らせる地域づくりを目指して、令和元年に「河瀬区生活支援に向けた取り組み検討委員会」（第3層協議体）を設置しました。

委員は、区役員・サロン活動世話人・民生委員・医師・福祉施設代表・区内各種団体代表・ケアマネージャーなど20名で構成しています。3つの分科会に分け、これまで委員会を2回開催しました。

まず、状況把握のため、60歳以上の区民を対象にアンケートを実施しました。その結果をもとに今後、各分科会で課題を検討していきます。



令和2年2月19日開催
サロン 居酒屋こうぜ

地域のたすけ合い活動を推進する 組織の立ち上げ

山内地区

関係団体と協議して、地域における助け合い活動を推進していくための組織として「たすけ合う山内区民の会」を立ち上げました。

推進メンバーは区長・区長代理・長寿会会長・公民館館長・民生児童委員・区長推薦委員など8名で構成しています。

区の課題を顕在化させ、優先順位を決め取り組んでいくために、生活状況に関するアンケートを実施しました。

現在、活動組織の確立及び運用基準の策定に向けて一歩一歩進めています。

〈これまでの取り組み〉

平成31年3月

区の総会にて区民に周知

平成31年4月

議決機関である立会人会で議決

令和元年7月

準備会開催

令和2年2・3月

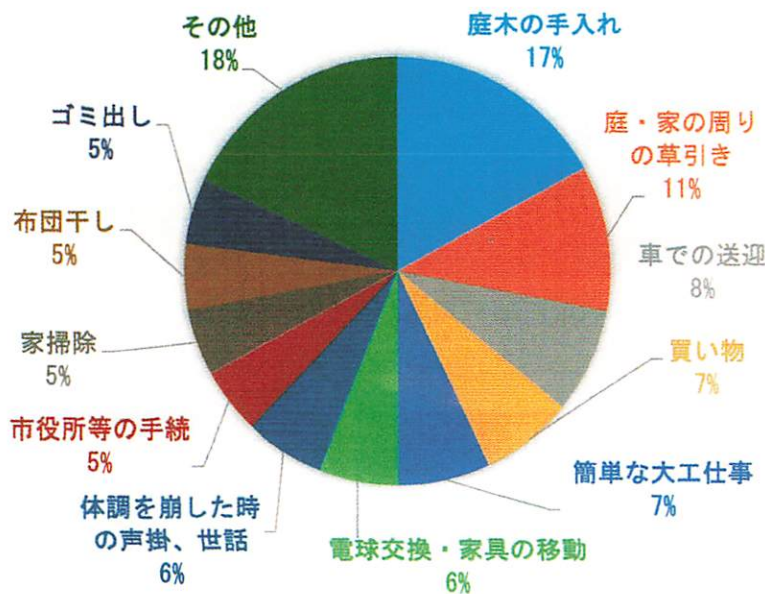
生活状況に関するアンケート調査の実施

区民の意見を反映した 助け合い活動を検討中

垂井地区

垂井地区の住民を対象に生活状況アンケートを実施しました。アンケート結果をもとに、協力者を集めて、第3層のメンバーを決定し、生活支援のための組織を検討しています。組織の名称を「垂井助っ人隊」と命名しました。これから実施に向けて検討を重ねていく予定です。

日常生活で手助けしてもらいたいこと



皆が楽しく集える場として ふれあいサロンを設置

中島地区

中島地区の住民の健康増進、相互の親睦を図りながら明るく笑いの絶えない、気楽な会を目指して、ふれあいサロン「中島つなぐ会」を立ち上げました。中島集会所を主会場として毎月2回以上開催します。対象者は65歳以上の中島区民で、サポートスタッフを含め、60名の方が登録してくださいました。

令和2年12月1日に、第1回「中島つなぐ会」を開催しました。



第1回中島つなぐ会の様子

たすけ合う 隅田 だより 第 3 号

令和4年3月発行

生活支援コーディネーター：：水口郁敏・村山泰子・中家祥二

中尾忠央・千本邦子

住み心地のよい地域を目指して

「たすけ合う隅田」全体会議開催

「たすけ合う隅田」（隅田地区第2層協議体）は平成30年2月に発足。各地区の区長をはじめ、有志の方々がメンバーとなり、高齢者を主体とした助け合い・支え合いの地域づくりについて協議を行ってきました。令和3年11月・令和4年1月に全体会議を開催し、各地区の取り組みについて報告しました。

各地区の取り組みを共有

「たすけ合う隅田」では、協議体の取り組みや各地区の活動状況等を発信していくため、広報部を立ち上げました。一緒に「たすけ合う隅田だより」を編集していただける方を随時募集しています。

本号では、今後の取り組みを推進していくため、3地区の活動状況をご紹介します。他の地区については、次号にて掲載する予定になっています。



令和3年11月 全体会議（隅田地区公民館）

各地区の取り組みをご紹介します

生活状況に関するアンケート で地域の実態を把握

〽霜草地区〽

霜草地区の住民を対象に「生活状況に関するアンケート」を実施しました。日常生活でどのようなことに困っているか、どのような助け合い活動に参加できるかなどの助け合いのニーズ調査のほか、災害時に必要な情報を入手したり一人で避難できない方の把握を行いました。アンケート結果をもとに、協力者を集めて、実施について検討を重ねていく予定です。

〇主な困りごと

1. 草刈り、草引き10人
 2. 災害時の避難6人
 3. 病院の送迎、話し相手5人
- 〇困りごとを助けてあげると回答した方 7名





なでしこの会の様子（中下区集会所）

地域の交流の場「なでしこの会」

～中下地区～

中下地区では、地域の交流の場として「なでしこの会」を毎月第3日曜日に開催しています。対象者は中下地区在住の高齢者。おしゃべりをしたり、体操をしたり親睦交流を図っています。

また、今年3月に区民広場（通称…ちびっこ広場）が移転。今後は、なでしこの会でも活用するなど、高齢者と子供が交流できるような場にしていく予定です。

地域のたすけ合い活動の核は

区・老人会・女性グループ
～上兵庫地区～

上兵庫はここ十年近くで新旧住民の世帯が逆転し、区民の約六割が集合住宅に住んでいます。特に、市内企業の社宅として入居されている方が多く、新旧住民の交流がほとんどない現状です。また、高齢化も一段と進み、一人住まいの世帯も二割近くに上っています。

コロナ感染拡大前は、ハイキングやバス旅行、ふれあいサロン、すみだこども園との交流会、金毘羅神社のお餅まき、区民全員参加の一斉清掃など、各種催しを通じて交流が盛んでした。現在は、区民総会も含め、大多数の催しが小休止の状態です。

今年1月に、第三層協議体の取り組みの見直し検討会議を開き、役員の変更も行い、新年度からは、今できる範囲の活動を、まず一歩ずつ行つことを決め、区民の皆さんにお知らせしたところです。



トピック 買い物支援を考える

■品物を見ながら買い物できる！販売所が地域の交流の場に！

事業名：移動スーパー「まごの手」

事業主体：日の丸観光株式会社（かつらぎ町笠田）

内容：軽トラックで、生鮮食品・お惣菜・パン・日用品等を販売。

エリア：現在は、恋野地区と学文路地区を巡回しています。※巡回の希望がある場合は調整が必要になります。隅田地区第2層協議体が対応します。



たすけ合う 隅田 だより 第 4 号

令和 5 年 4 月 発行

生活支援コーディネーター：：水口郁敏・村山泰子・中家祥二

中尾忠央・千本邦子

住み心地のよい地域を目指して

「たすけ合う隅田」ごあいさつ

花見はどうされましたか。それどころでは・・・の人も多かったかな。

『緑のさくら』をご存じですか。橋本で有名な所は城山団地中央公園「御衣黄^{ぎょいこう}」があります。隅田町では下兵庫のちびっ子広場にまだ小さい木ですがあります。一度訪れてみてください。

コロナの方は、5月から感染症のレベルがインフルエンザなみに引き下げられます。いよいよ「たすけ合う隅田」を再出航させます。

この船に乗りおくれないように よろしく

たすけ合う隅田 座長 水口郁敏

各地区の取り組みをご紹介します

『お助けたい しもひょうご』を発足

地区の困りごとは、地区のみんなで助けてあげたいを合い言葉に『お助けたい しもひょうご』を発足。

下兵庫地区も住民の高齢化のなみが押し寄せています。

高齢者の一人暮らしや老夫婦二世帯が急激に増えてきているように思います。

困り事があっても、気軽に頼める人が近くにいない状況もあるように思います。まず、どのような困り事があるのか、どんなことなら助けることができるのかを知ることから始めました。

「生活状況に関するアンケート」を二度実施し、地域の状況把握に努めました。

しかし、コロナの感染が収束せず自粛となってしまいました。

そのような中で、老人会やサロン「ローバの会」によって、グラウンドゴルフ等で活動が続けていただきました。

今度こそいよいよ区の出番。区が頑張る時ではないかと思っています。

『お助けたい しもひょうご』を地域の助け合い活動の中心として、活動していきたいと思います。

できることをできる範囲で、焦らず地道に進めていきたいと思います。他地区の活動を参考にさせていただきながら、進めていきたいと思います。

下兵庫地区 西 芳文



下兵庫ちびっ子広場

地域の憩いの場「芋生ふれあい会」

芋生地区

芋生地区の住民が、気軽に集える継続的な場として「芋生ふれあい会」を、月に3～4回開催しています。

定例開催の『芋生健康体操』『おしゃべりカフェ』『食事会』と、季節に合わせたスポーツ行事も織り交ぜ、明るく笑いの絶えない、気軽に参加できる集いです。

スポーツ行事として、令和4年講演いただき12月27日には、34人の参加で『正月用生花教室』を開催しました。令和5年2月24日には、28名の参加で橋本警察署から『特殊詐欺と高齢者の交通安全』の講演いただきました。



『正月用生花教室』



『特殊詐欺と高齢者の交通安全』についての講演会（橋本警察署員から）



月2回の芋生健康体操

相談支援に関して

■介護支援が必要なときの相談

ひかり苑在宅介護支援センター・・・・・・・・	37-3000
在宅介護支援センターさくら苑・・・・・・・・	44-1189
紀和病院在宅介護支援センター・・・・・・・・	33-5000
橋本市地域包括支援センター・・・・・・	0120-555-294

■市民生活での心配ごと相談所

社会福祉協議会・・・・・・・・	33-0294
-----------------	---------

編集後記

令和4年度「たすけ合う♥隅田だより」です。次号もよろしくお願いします。

編集委員一同

たすけ合う 隅田だより 第 5 号

令和 6 年 3 月発行

生活支援コーディネーター：水口郁敏・中尾忠央・福島義照・中家祥二
村山泰子・千本邦子・葛原和好

住み心地のよい地域を目指して

「たすけ合う隅田」ごあいさつ

新型コロナウイルスの収束宣言から約 1 年。日本中がやっと活気あふれる日常生活にもどってきました。

私たちの「たすけ合う隅田」は発足して 6 年がたちました。この間、隅田 11 地区の区長や老人会、民生委員、ボランティアなど多くの皆様のご支援をいただき、地域の課題や問題点を出し合い、テーマごとの解決策や取り組みを協議して来ました。隅田地区共通の課題はみんなで確認し合い、具体的な取り組みは地区ごとの特徴を生かして地区毎に進めてきました。大いに参考となった取り組みは、近隣の地区にも波及し定着し花開いた内容もあります。

私たちの取り組みは、地域住民が助け合い、支え合い、行動することで、明るい地域づくりの一助になることを目指し、これからも皆さんと一緒に地道な活動に取り組みたいと思います。

たすけ合う隅田 座長 水口郁敏

各地区の取り組みをご紹介します

昨年 12 月 16 日（土）午後 1 時から橋本市保健福祉センター 3 階多目的ホールにて、「たすけ愛はしもと」の協議体の中から、山田地区（発表者：米坂和芳）と隅田地区（発表者：中尾忠央）が、現在の活動状況を発表しました。この紙面では、隅田地区の取り組みとその内容を、昨年末のアンケートから一部を紹介します。



▽昨年 12 月に各地区から報告いただいた活動内容

区	項目	体育系	文化系	茶話会系	その他	計
河 瀬		5	0	3	4	12
下兵庫		3	3	1	5	12
上兵庫		3	1	1	2	7
中 島		4	2	0	5	11
中 下		2	1	3	9	15
芋 生		2	4	2	4	12
垂 井		2	1	1	9	13
真 土		3	2	1	4	10
霜 草		3	0	1	4	8
山 内		3	5	3	4	15
平 野		1	0	1	1	3
合 計		31	19	17	51	118

【河瀬】（昨年 11 月現在 人口 1,115 人 世帯数 595 戸）

- ふれあい交流会（食事、会話、ゲーム、約 3 時間、参加費 300 円、年一回は区外交流：今回は黒滝村にて開催）
- 男のサロン・居酒屋こうぜ（夕方に開催、アルコールあり、食事は持ち寄り、参加費 300 円）
- おしゃべりカフェこうぜ（お昼に開催、参加費 100 円）
- 健康麻雀（3～4 卓）、健康体操等。三密を避けてコロナ対策を充実して開催、会場は区民会館
- シニアゴルフコンペ（60 歳以上の区民交流、年 2 回）
- 区民防災運動会（10 月開催、防災訓練と運動会の合体）
- 区民夏まつり（8 月開催、区民とその家族が対象）

課題：区民の生活支援や防災支援などの検討中、順次取り組みたい

【下兵庫】（人口 1,471 人、世帯数 687 戸）

- すこやか運動会（区民交流の場として年 1 回開催）
- 俳句会、カラオケ（月 1 回、区民交流の場）
- 夏まつり（年 1 回、区民交流の場）
- 冬場のイルミネーション（冬場）
- 下兵庫駅の清掃奉仕作業（年 2 回、地域清掃の一環）
- グラウンドゴルフ大会（週 2 回、健康増進と交流）

課題：休耕田を利用しサツマイモ植えと収穫を子供たちに体験を…

【上兵庫】（人口 288 人、138 世帯）

- 区民ハイキング（2 年に 1 回）
- 桜の花見（橋本カントリー送迎、お弁当付き）
- ふれあいサロン（月 2 回、集会所にて）
- すみだこども園との交流会（老人クラブとこども園）
- お餅まき（区内金比羅さんにて）
- 年 1 回の日帰り親睦旅行（老人会と区が交代で主催）

課題：区内持ち家住宅の 2 倍強がアパートの入居者

【中島】（人口 821 人、403 世帯）

- 中島ささえあう会（独居老人宅への声掛け、見守り、家庭訪問活動）
- 中島つなぐ会（気軽なサロン会、月 2 回、約 60 名参加）
- げんきらりー教室（毎週水曜、地区公民館）
- 百歳体操（第 2・4 水曜、地区公民館）
- 歌声サークル（老人会、第 3 月曜）
- 区民盆踊り大会（8 月の地蔵盆、区民の交流・親睦）
- 防災訓練（11 月、防災意識の向上）

課題：文化的なサークル活動が少ないので積極的に取り組みたい

【中下】（人口 511 人、世帯数 220 戸）

- グラウンドゴルフ（老人会、第 2・4 日曜）
- 「なでしこの会」（高齢者の食事会、健康体操、脳トレゲーム、茶話会など）
- 夏祭り盆踊り大会（8 月、飲食無料、景品抽選会）
- 防災訓練（2 年毎の開催、今年度は芋生・中島と 3 地区合同避難訓練）
- 区民広場「通称：ちびっ子広場」整備（区委員・育成会にて年 8 回、草引きや整地作業）
- お助けたい中下（高齢老人訪問、見守り活動）
- 防災訓練（11 月、防災意識の向上）

課題：俳句・生け花・茶道・書道などのカルチャー教室を開催しスキルを高めたい



【芋生】（人口 369 人、世帯数 180 戸）

- 高齢者への声掛け・ちょっとした手助け運動（継続）
- サロン活動（芋生健康体操：月 2 回、おしゃべりカフェ：月 1 回、食事会 2 ヶ月に 1 回）
- 芋生花いっぱい運動（11 月）
- 正月用生け花教室（12 月）
- 健康体操（月 2 回）
- グランドゴルフ（週 1 回）

課題：夕涼み会や居酒屋芋生などを立ち上げ検討

【垂井】（人口 386 人、世帯数 169 戸）

- 自主防災訓練（年 1 回、防災意識の高揚のため）
- 区民運動会（区民参加、年 1 回 5 月開催）
- 夏まつり（年 1 回、コロナのため中断中）
- 買物ツアー：隅田地区内福祉施設と連携してスーパーへ買い物送迎（月 1 回、試行中）
- 生活支援組織「御用きき」（消毒作業、草むしり、電球交換、買物支援など）
- ふれあいなごみサロン（手芸、お茶、おしゃべり、介護予防教室など）
- 墓地清掃・環境整備・地域奉仕作業（年 1 回）

課題：生活支援事業の見直しを行う予定

【真土】（人口 241 人、世帯数 139 戸）

- グランドゴルフ（毎週火曜）
- 元気ラリーとびこえ（毎週火曜、体操）
- 真土ピンポンパン（毎週水曜）
- お寺サロン（偶数月）
- 大葉の里ボランティア活動（年 4 回）
- 小学生芋掘り（年 1 回）

【平野】（人口 166 人、世帯数 70 戸）

南北に細長い平野区は、民家が点在しており、日頃から病院、買い物送迎、畑の手伝い話し相手の助け合いが根付いています。高齢者支援委員会が発足。

- グランドゴルフ（毎週）
- お花見（年 1 回）
- 寺・道路等清掃（年 2 回）

課題：昨年、山内区のせんべろ会に参加、立ち上げ検討

【山内】（人口 510 人、世帯数 221 戸）

- たすけ合う区民の会（協力者 18 名、70 歳以上の高齢者を支援）
- 百歳体操（毎月、健康体操）
- グランドゴルフ・ベタンク（第 1～4 水曜）
- 区民防災運動会（年 1 回、11 月）
- 俳句の会・ちぎり絵の会・ピアノによるコーラス（趣味を通じての交流）
- ふれあいサロン：ほっこり（第 2 火曜、第 4 金曜、食事会、輪投げ）
- せんべろ会（年 4 回、食事会、親睦会）
- みかんの会里山カフェ（第 3 水曜、約 2 時間、お茶して語らい）
- 区民盆踊り大会（8 月、先祖供養、区民の交流）

【霜草】（人口 254 人、世帯数 157 戸）

- グランドゴルフ（週 1 回）
- ゴルフ大会（年 2 回程度、毎回 20 名以上参加）
- 夕涼み会（年 1 回、区民による模擬店、焼きそば、焼き鳥ほか）
- 旧通学路沿線整備（年 2 回、草刈り、ゴミ拾い）
- 区内沿線の美化活動・集会所等整備（草刈り、ゴミ拾い）

生活支援コーディネーター：水口郁敏・中尾忠央・福島義照
村山泰子・葛原和好

山内たすけ合う隅田♡区民の会「青空落語会」



主な橋本市高齢者保健福祉サービス

あんしんカプセル ①

緊急時に必要な情報(血液型や持病など)を記入した用紙を専用のカプセルにいれて冷蔵庫で保管するものです。※冷蔵庫内にカプセルがあるとわかるシールもあります。常備薬も入れておくと便利です。

◎対象者：希望者

高齢者等見守り安心ネットワーク事業 ②

認知症などにより行方不明になる恐れのある人を事前に市に登録していただき、登録内容を警察・消防本部等と情報共有し、行方不明時に迅速に対応できるようにします。

◎対象者：市内在住の認知症などにより行方不明になる恐れのある高齢者など

高齢者配食サービス見守り事業 ③

要介護者の高齢者等が地域で自立した日常生活を送ることを支援するために、お弁当の配達を行うと同時に見守り訪問を行い、安否等の状況を確認します。お弁当は手渡します。

緊急時は登録連絡先や担当ケアマネージャーに連絡します。

◎対象者：65歳以上の一人暮らしの高齢者のみの世帯、高齢者のみの世帯、日中独居で安否確認が必要な方

緊急通報装置の設置 ④

安全で安心して生活できるようペンダント型の通報装置を貸与し、ボタンを押すと警備会社と連絡が入り、近所の方や身内の方に至急に連絡をして適切な処置をします。

また月1回警備会社や看護師が電話連絡をし、安否確認なども行います。市内で約200人が利用しています。

◎対象者：一人暮らしまたは高齢者のみの世帯に属する要介護高齢者等で、所得税非課税世帯であり日常生活を営む上で常時注意を要する状態にある人

地域ふれあいサロン ⑤

地域の高齢者が気軽に集まり交流を深め、また地域の人たちとのふれあいの輪を広げることで、閉じこもりや寝たきりを予防し、健康でいきいきとした生活を送れるよう支援します。出前講座も実施中。市内200か所で開催しています。

◎対象者：おおむね65歳以上の高齢者 開催1回あたり支援金も出ます。

①橋本市社会福祉協議会 0736-33-0294

②橋本市包括支援センター 0736-32-1957

③橋本市いきいき健康課高齢福祉係 0736-33-3705

補助

3月29日(土)地元の人たち83人が、極楽亭カエルさん(垂井在住の中富正好)の出前落語を楽しみました。中学から落語をはじめ、退職後から落語を再開。今は、年間約30カ所で行った出前落語を披露しています。県内外のふれあいサロンや老人会、地域の催しなどで笑いと元気を届けています。

池田昌弘氏のお話



全国コミュニティサポートセンター理事長を招いて、昨年7月3日(水)午後7時から、隅田地区公民館にて、約80名が参加して、「つながりは地域の支え合いから」と題して、ふるさと隅田のたすけ合いの取り組みを皆で考えました。

この中で、地区毎のユニークな活動を続けていることや、秋まつりの山車運行が他地方にない人と人とのつながりを深めていることに、もっと気づいてこれからも続けて行くことの大切さをアドバイスいただきました。

◎河瀬区 (今年3月末現在 人口 944 人 世帯数 454 戸)

○ふれあいサロン

発足してから10年以上経過し、それぞれ充実した活動を行っている。最近立ち上げた「ふれあいサロンいこうぜ」、「脳トレ」および「健康麻雀」は好評である。今後、体系立てて更に充実を図っていききたい。また、区民に広くPRして、触れ合える活動にしていきたい。

◎下兵庫区 (人口 1474 人 世帯数 727 戸)

○お助け隊下兵庫

2年前に発足した「お助け隊下兵庫」に初めて草引きの依頼があった。もっと気楽に依頼できるように検討していきたい。

○集団活動

道路清掃、さつまいも苗植え・収穫を実施した。
さつまいも収穫祭は好評で、子供、他地区からも含め約200名が参加した。来年も継続して行きたい。

◎上兵庫区 (人口 284 人 世帯数 139 戸)

○集団活動

世帯数が少ない区であるが、恒例の「餅まき」を通じて、子供さんやお年寄りの方が多数参加して交流を図っている。
また、区と老人会が主催する「日帰りバス旅行」も交流の場として続けている。
旧国道の「安全運転喚起」の看板づくりも活動のひとつである。

◎中島区 (人口 828 人 世帯数 419 戸)

○サロン活動

「中島つなぐ会(スタッフ18名)」が中心に取り組んでいる。輪投げ、ボーリング、楽器演奏会、落語会、講演会等を企画し、50～60名参加している。

○見守り活動

「中島ささえ合う会(つなぐ会と同じスタッフ)」が、2人1組で、2ヶ月毎に、一人暮らしの高齢者45名の自宅の訪問活動を行っている。

◎中下区 (人口 493 人 世帯数 227 戸)

○訪問活動

「たすけ合う中下」のスタッフ6名が、3グループに分かれて、75歳以上の高齢者宅の訪問活動を令和6年5月から実施している。
重要度評価し、1回/年又は1回/2～3ヶ月に分けて訪問している。

○マイカー送迎

「お助け隊中下」のスタッフ8名によるマイカー送迎を実施している。白タク営業にならないよう運賃は決めず、「謝礼」としている。

◎芋生区 (人口 377 人 世帯数 190 戸)

○健康麻雀

ふれあい・交流の場として開始したが、男性に加え、女性も参加され大変好評である。現在メンバーは15人程になっており、脳トレや指先運動が期待できる。1回/月、4時間程度の活動で、麻雀卓も2卓から3卓に増やし、大会も実施している。

◎垂井区 (人口 369 人 世帯数 166 戸)

○買い物ツアー

ひかり苑からの車両運転協力により、1回/月の買い物ツアーを実施している。定員は6名である。

○サロン活動

スタッフ(12名)の高齢化に伴い、開催頻度を、1回/週⇒1回/月にした。健康体操、茶話会等を実施している。
会員は25～30名(内男性は4～5名)であるが、年々減少している。また、各活動を行う上で、スタッフの高齢化が課題となっている。

◎真土区 (人口 219 人 世帯数 130 戸)

○移動スーパー

昨年6月から日の丸観光の協力により、1回/週(木)、2箇所で実施している。場所によってバラツキがあるが、3～10名程度利用している。オークワの商品で、2割高である。
日の丸観光の都合により中止になる場合もある。

◎平野区 (人口 165 人 世帯数 71 戸)

○地区のつながり状況

従来から、秋まつり、七草がゆ、墓地清掃を実施している。
最近では、昨年1月に「平野食堂」、8月に「夏まつり」を開催した。
双方とも参加者が多く、人と人との繋がりが図れた。
今後の取り組みとして、定例化できる行事を確立することである。
予算立てでも必要になるので、補助金制度を活用するなど検討したい。

◎山内区 (人口 524 人 世帯数 250 戸)

○集会所の常時開放

安全対策を実施して開放している。下地区の集会所と防災センターの利用が多い。せんべろ会、なかよし会、カラオケ会、俳句会、帰省子供の利用など幅広い年代に利用してもらっている。

○その他の集いの行事

長寿会も参加した「菜の花畑、チューリップ畑の植え付けと鑑賞会」やコロナ禍で中止していた「クリスマス会」を実施した。

◎霜草区 (人口 251 人 世帯数 154 戸)

○活動状況

「たすけ合い霜草」の組織は立ち上げているが、具体的な活動はこれからになる。75歳以上でひとり暮らしの方が10人いる。この人たちを中心に訪問、見守りが大切と感じている。
昨年は、秋まつりのだんじり当番区であったので、そちらに注力した。

